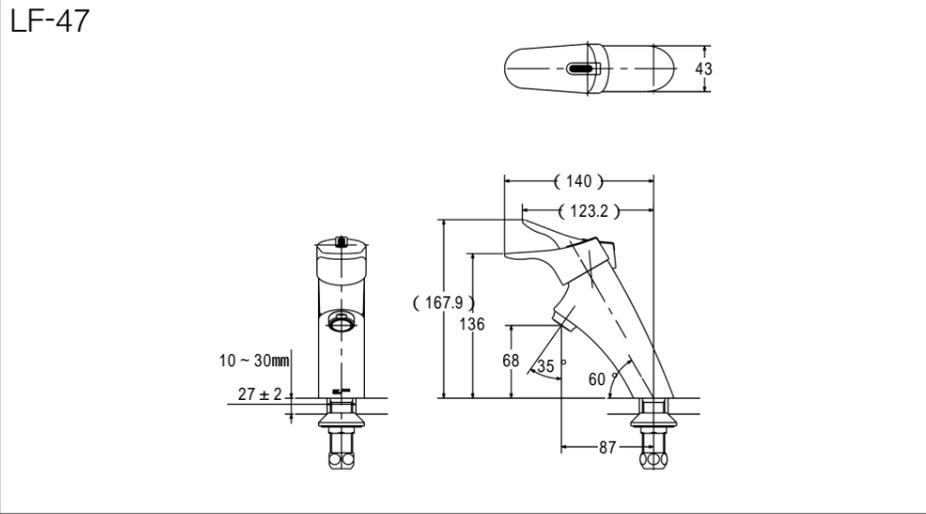


シングルレバー単水栓

LF-47

商品の機能が100%発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。
 なお施工完了後、この施工説明書を同梱の「ご愛用フォルダー」に入れてお客さまにお渡しください。

商品図



カウンター穴あけ寸法は 27±2で行ってください。カウンター厚は、最大30mm。

安全上のご注意

施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく施工してください。
 ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。
 いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
 施工完了後、正常に作動することを確認するとともに、取扱説明書にそってお客さまに使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
 この施工説明書は、取扱説明書と共にお客さまで保管頂くように依頼してください。

注意

本製品は水専用の水栓です。給湯器への接続は行わないでください。	⊘
お客さまに引き渡す前に凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。 凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。	!

使用条件

給水圧力は以下の条件を守ってください。

給水圧力 { 最低必要圧力..... 0.05MPa{ 0.5kgf/cm² }
 { 最高圧力..... 0.75MPa{ 7.6kgf/cm² } }

給水圧力が 0.75MPa{ 7.6kgf/cm² } を越える場合は、市販の減圧弁等で適正圧力 (0.20 ~ 0.39MPa{ 2 ~ 4kgf/cm² }程度) に減圧してください。

施工前のご注意

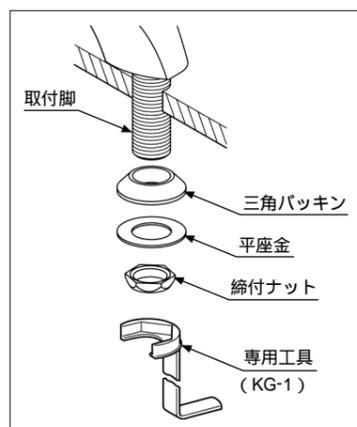
給水は、上水道に接続してください。
 温泉水など異物を多く含む水には使用できません。
 商品の表面には直接工具を掛けしないでください。
 工具を掛ける場合には、商品に布等をあてて保護してください。
 開梱、取付けの際には商品の表面にキズを付けないように十分注意してください。
 取付け後の保守点検のために必ず止水栓(別売)を設けてください。
 必ず配管中の異物を完全に洗い流してください。

施工方法

以下の手順で正しく取り付けてください。

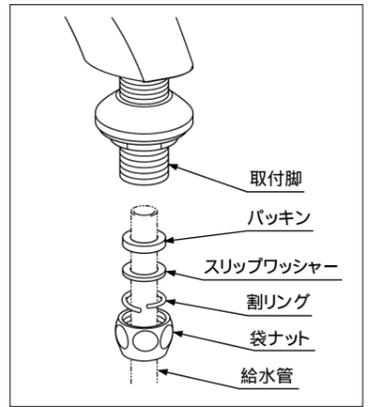
1. 水栓本体の取付け

水栓を陶器・洗面器の取付穴に取り付けます。
 締付ナット、ワッシャー、三角パッキンを取り外し、取付脚を取付穴に挿入し、締付ナットで本体をしっかりと固定します。
 別売の専用工具 (KG-1) を使用してください。



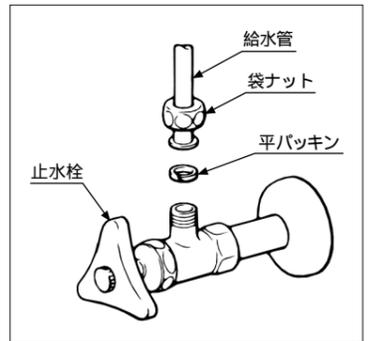
2. 水栓本体と給水管の接続

- (1)取付脚への差込し(約20mm)を確保して、給水管(別売の止水栓に付属)を切断します。
- (2)給水管に袋ナット、割リング、スリップワッシャー(金属)及びパッキンの順序に組み付けます。
- (3)給水管を取付脚に約20mm 差し込み、袋ナットは、はじめに手でいっぱい締め付けてから、工具で 3/4 ~ 1 回転増締めしてください。(締め付けトルク 10 ~ 15N・m{ 100 ~ 150kgf・cm })



3. 給水管と止水栓の接続

給水管の袋ナットを止水栓に固定します。



引渡前の確認

引渡前および故障時の点検は以下の要領で行ってください。

この商品は、水を急に止めるときに発生する配管への衝撃をやわらげる機能が付いています。このため急に閉めようとするとハンドルが重く感じることがありますが故障ではありません。ハンドルが重くならないように、ゆっくりと閉めてください。

故障と点検

点検箇所は下図を参照してください。

故障	点検内容	点検箇所	処置
流量が少ない	圧力は十分か?		「使用条件」の項参照。
	配管途中に大きな抵抗はないか?		抵抗となる障害物を取り除く。
	止水栓は十分開いているか?		止水栓を十分開く。
水が止まらない	泡沫金具のゴミ詰まりはないか?	①	ゴミ等を水で洗い流す。
	ゴミかみはないか?	②	ゴミ等を水で洗い流す。
	キズはないか?	②	キズがあれば部品を交換する。
ハンドルがガタつく	ゆるみはないか?	③	カートリッジ押さえを締める。 締め過ぎるとレバーハンドルが重くなる ことがありますので注意してください。
	ゆるみはないか?	④	ハンドル止めビスをしっかりと締める。

